

「海外の都市政策に関する研究」についての募集

国土交通省総合政策局
海外プロジェクト推進課

2026 年 7 月 31 日

(2026 年 8 月 5 日改定)

国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課では、(公社)日本都市計画学会と連携し、下記の要領で「海外の都市政策に関する研究」をテーマとするセッションを企画しております。

我が国の都市政策においては、諸外国の取組も参考にしつつ、各種施策の検討・展開を進めています。また、2024 年 11 月にイタリア・ローマで開催された「G7 都市大臣会合」では、各国大臣による共同行動の一つとして、都市政策に関する経験や知識を共有することが盛り込まれるなど、諸外国の最新動向を把握することの重要性が一層高まっています。

こうした状況を踏まえ、国土交通省では、公益社団法人日本都市計画学会と連携し、各国の最新動向を踏まえつつ、住宅・都市開発を含むインフラ海外展開を進める観点から、海外における都市政策に関する優秀な研究について、有識者から成る「海外都市政策研究委員会」による審査に基づき表彰を行うこととしました。

< 国際的な課題と認識されている都市政策の例示（都市政策の優先課題） >

- ・ ネットゼロ・レジリエント・ネイチャーポジティブな都市政策
- ・ 再生可能エネルギーの導入加速、エネルギー再利用・リサイクルのあり方
- ・ 都市・地域における文化財・文化遺産等の文化価値の創造・保存
- ・ 社会的弱者・高齢者等に対する社会的インクルージョン、住まいのアフォーダビリティの確保
- ・ 都市・地域におけるデータプラットフォーム、デジタルツイン、AI 等のデジタル技術を活用したスマートシティの構築
- ・ 先進的な機関や企業がスタートアップや教育機関と集結する都市のエコシステム形成によるイノベーションの創発
- ・ AI の進展に伴う発電所、データセンター等の都市・地域における立地のあり方

(参考資料：G7 イタリア都市大臣会合コミュニケ・概要)

https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/toshi_daisei_tk_000085.html

【日程・会場】

■ 日時：2026 年 10 月 31 日（土）13 時から 15 時

■ 場所：北海道大学札幌キャンパス内（札幌市北区北 13 条西 8 丁目）

（対面での参加を想定）

【発表に関する事前審査と研究アブストラクトの提出】

- ・発表に関する事前審査と研究アブストラクト集の作成のために、発表希望者には図を含む研究アブストラクトを期日までに提出していただきます。発表を希望される方は、下記を熟読のうえお申し込みください。

○原稿投稿締切： 2026 年 9 月 10 日（木）

- ・発表希望者に対しては、以下の審査・評価項目に合致しているかどうかを、事前に審査させていただきます。
- ・審査に当たっては、審査委員となる（公社）都市計画学会の先生方複数名が合同で審査します。

【審査・評価項目】

海外における都市政策動向を適切にとらえ、我が国での政策形成に活かす目的より、主に以下の観点から審査・評価を行います。

- ・諸外国の都市政策について新たな発見があること（既存研究や文献を踏まえ、新規性を明記していること）
- ・日本の都市政策及び／又は都市開発の海外展開への示唆に関する言及があり、その導入などに一定の意義と可能性が存在していること
- ・商業目的への過度な偏りがないこと
- ・指定された原稿の様式に合致していること

【発表者の特定、発表当日の審査・評価項目について】

- ・事前審査を通過した場合、発表予定者に対して、会場の場所、時間等を事前にご連絡させていただきます。
- ・発表当日は、研究発表について、上記審査・評価項目に沿って審査を行い、最優秀賞 1 点、優秀賞若干数の表彰を現地で行います（いずれも賞名は今後決定します）。
- ・審査通過後、予定の変更等により当日の発表が実施不可能な場合、発表スライドのみを当日までに送付いただければ幸いです。

【発表者・発表様式】について

- ・複数著者による研究の場合、第一著者が当日の発表者となることを原則とします。また、多くの方にご投稿頂く機会を確保するため、第一著者が同一である論文の投稿は 2 件までとさせていただきます。
- ・発表は、マイクロソフト・パワーポイントのスライド形式で発表時間は 10 分程度を想定しています。発表資料は発表時間に即した適切な分量とすることをお願いします。（正確な発表時間は当日までに事務局より指定）

【アブストラクト原稿・発表スライドについて】

- ・アブストラクト原稿及び発表スライドは、どちらも後日、国土交通省内又は都市計画学会関係

者の執務・研究の参考にさせていただく予定です。

- ・研究アブストラクトは、研究紹介のためのリーフレットであり、図表を活用するなどして見やすくするなど、ビジュアル的に分かりやすくすることに留意してください。
- ・提出された原稿が指定した様式と大きく異なる場合や図表の可読性に問題がある場合には、原稿の修正をお願いすることがあります。なお、様式等の小修正を事務局側での判断で行うことをあらかじめご了承ください。
- ・発表スライドは、発表日の1・2週間程度前までに事務局に送付してください。（詳細な資料締め切りは別途指定します）発表に関する論文等、参考資料がある場合には、スライドと同じタイピングで pdf 形式にて送付してください。

【原稿の投稿方法】

- ・アブストラクト原稿は下記フォームからご入手ください。
<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1785919667GwzeCGJG/>
- ・原稿投稿は、事務局宛メール（toshikeikaku@hip-ltd.co.jp）にてお願いします。
担当：高見、小曽根(おぞね)（委託事務局：(株) ヒップ）
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5

【アブストラクト原稿の様式】

- ・原稿は MS-WORD ファイル(.docx)で提出してください。
- ・原稿のファイル名は、代表者の氏名のローマ字としてください。その際、氏名の記載は姓名の順とし、例えば KokudoTaro.docx のようにしてください。
- ・原稿の中で使う図は、400dpi 以上の解像度のものを利用してください。また、図表レイアウトの確認のために、原稿の PDF ファイルも提出ください。
- ・原稿の様式は以下の通りです。原稿テンプレートをご用意していますので、上記事務局宛てに送付を依頼し、事務局より送られてきたテンプレートを上書きして原稿をご用意ください。

<原稿様式>

- ・ページ数：A4 サイズ 2 ページ
- ・余白設定：上：25mm、下：18mm、左：20mm、右：20mm
- ・段組：
タイトル・氏名・所属・連絡先の部分は「1 段」
本文は「2 段」
図は「1 段」あるいは「2 段」（1 段が望ましい）
- ・文字の向き：横書き
- ・フォント：
タイトルは 日本語 MSP ゴシック 12pt 太字
タイトルと図表のキャプションは 日本語 MSP 明朝 10pt, 英数字 Times New Roman 10pt
- ・句読点は、コンマ（,）とピリオド（.）を用いてください。
- ・ご所属は、大学の場合、学部・研究科等まで記載してください(学科までは不要)。

- ・ 企業・省庁・自治体等の場合は組織名を記載してください。
- ・ アドレスや URL などのハイパーリンクは付けないでください。

【アブストラクト原稿の小見出し】

以下の小見出しタイトルを原則参照してください。

- (1) 背景
- (2) 対象国の政策紹介・特徴
- (3) 我が国都市政策への示唆又は適用可能性
- (4) 参考文献（または、引用文献、References など）

- ・ 小見出しは、"1 動機："の形式で、太字・ゴシックにしてください。
- ・ 原稿は日本語で記載してください。
- ・ 図表のキャプションは、"図 1：あああ""図 1(a)：いいい"の形式で記載してください。
- ・ 研究アブストラクト集は、カラーを考慮して図をご用意ください。
- ・ 発表予定者が第 1 著者でない場合は、発表者の名前の前に「○」を記載してください。